

学年・教科	第2学年	理 科	担当者	猪俣 雄
学習目標 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。				
指導計画		学 習 内 容		
単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 物質は原子や分子からできていることを理解し、原子は記号で表されることを学ぶ。 化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されること学ぶ。 反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見だし、学ぶ。 		
単元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物のからだのつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし、学ぶ。 植物の葉・茎・根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散の働きに関する実験の結果とを関連付けて学ぶ。 消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬し、不要な物質を排出するしくみがあることを、各器官のつくりと関連付けて学ぶ。 		
単元3 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気 のようす 2章 空気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの各気象要素の変化の関係を学ぶ。 前線にはいくつかの種類があることを学ぶ。 日本の天気の特徴を、天気図や気象衛星画像の変化から、日本の天気に影響を与える気団や偏西風と関連付けて学ぶ。 気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて学ぶ。 		
単元4 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	4 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 電流が電子の流れであることを学ぶ。 磁石や電流による磁界の観察を行い、磁界を磁力線で表すことを理解して、コイルの回りに磁石ができることを見だし、学ぶ。 コイルや磁石を動かすことによって電流が得られることを見いだすとともに、直流と交流の違いを学ぶ。 		
観点別評価の観点と主な方法について ① 知識・技能 ・定期テスト（知識・理解を問う問題） ・観察・実験レポート等（式やグラフ、記述内容等） ・観察、実験、実習時の操作や取組状況等 ② 思考・判断・表現 ・定期テスト（論理的に思考し記述する問題、情報を精査する問題等） ・観察、実験報告書等（特に考察の記述） ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ノート・ワーク等の提出物（提出状況や記述内容等） ・授業中の様子（発言や取り組み態度等）				
学習のアドバイス ・観察や実験の際、得られた結果から「考えられることは何か」「なぜこのような結果が出たのか」など、しっかりと考察すること。 ・授業で学んだことはその日のうちに復習すること。知識を定着させるために、ワーク等を有効に活用すること。				
使用教材 ・教科書・ワーク				